

# 北社会ニュース 第12号

2005-5-18

発行：鈴木壮夫

北陵ピンピン会（高11回）参加のため仙台に行ってきました。定禅寺通りのケヤキ並木の若葉が薄緑色で日光に映えて実にキレイでした。山菜も魚も酒もそしてなにより同期生との交流がGWの疲れを癒してくれました。でも、楽しみには「カネ」が付き物、残念！

## 来月以降の講演予定

6月15日（水）会員二名によるスピーチ第二回（もう一人は未定）

白崎敬治氏（高12回）「英国におけるProfessionalism」

7月20日（水）昔話になった甲子園を当時の応援団長に語っていただきます。

麻喜宏雄氏（高9回）「昭和31年（1956年）・夏・甲子園物語」

8月中～下旬 若手起業家・田村精誠氏（高25回）に新しい社会貢献を聞きます。

## 60回記念対一高野球定期戦に連勝

仙台一・二高  
野球定期戦

# 伝統の応援合戦に異変

フルスタ  
改修影響  
内外野に分かれ声援

野球の仙台一、仙台二高定期戦が14日、プロ野球東北楽天ゴールデンイーグルスの本拠地・フルキャストスタジアム宮城（仙台市宮城野区）であった。60回を迎える記念の試合だが、球場改修の影響で、仙台二の応援団が「応援スペースが内野に格好だ。

仙台一 13100010200  
仙台二 4120023001x138  
（一）三浦 大芳貴、児手 原子  
（二）阿部 千葉 佐々木

両校の応援合戦は内野席での応酬が伝統。昨までは内野席に大型の「リーダー台」を設けて応援団員が指揮した。今年

も台を設ける予定だったが、球場を管理する楽天野球団が「座席が壊れる可能性がある」として設置を認めなかった。このため仙台二応援団は「広い通路がある外野席に移り、応援形態を守る」と方針転換。生徒らは右翼側の外野上段席に陣取り、100人以上離れた打席やマウンドへ声を張り上げた。三塁側の仙台一応援団

は「選手に声援が届く場所からの応援が伝統」と内野席で声を振り絞った。リーダー台の代わりに、ビールケースを並べて板を敷いた台を通路に置いてしめた。応援合戦は広いグラウンドを挟んでの応酬に。仙台一応援団の大道寺隆也副団長（2年）は「昨年とは雰囲気違った」と話した。仙台二の堀内悠一郎副団長（3年）は「選手が遠く感じたが、その分集中できた」と振り返った。

球場には両校の生徒やOBら約4000人が詰め掛けた。青葉区の会社員（二）は「外野席からの応援も新鮮だ」と話したが、太白区の学生（三）は「内野席での応酬が醍醐

味（だいごみ）だった」と残念そうだった。試合は仙台二が13-8で勝った。通算成績は仙台一の59勝65敗2分けとなった。15日に第2戦が行われる。

## 第二戦の河北の記事はかくも小さく！

仙台二が優勝

一・二高野球定期戦

野球の第60回仙台一、

仙台二高定期戦は15日、

仙台市のフルキャストス

タジアム宮城で第2戦が

行われ、仙台二が8-4

で仙台一を下し、連勝で

5年ぶり26度目の優勝を

果たした。通算成績は仙

台一の66勝59敗2分け。

仙台一 12002000300048

仙台二 04000000000048

（一）阿部 佐々木

（二）斎藤 大芳貴・原子

文章で意志を伝える（投稿を添削されて）

孫は日中混血児です。2才になりました。私を「ジイジイ」とか中国語で「イエイエ」と呼んでくれます。実に可愛いものです。その孫のために投稿して採用され先週朝日・埼玉版の記事になりました。左側が記事、右側が私の投稿文です。良い経験になりました。

反日を友好へ

ひびくと言いたい

意見違ったら  
堂々向き合おう  
川越市 鈴木 壮夫  
(64歳・そば店経営)  
商社員として約3年間

北京に単身赴任していた約20年前。小、中学生だった3人の子供が妻に連れられ、夏休みに北京に came。最初の年は西安方面へ、翌年は内モンゴル自治区方面へ家族旅行をした。

「非開放地域」への旅行には、何回も当局との面接があった。便所や食堂など衛生面の不安もあった。でも、私は地元の

人々と同じ生活を子供たち求めた。物質的に貧しい生活を体験して、子供たちは国とか社会というものの違いを実感してくれたと思う。

国や党に頼らず、個人の眼で

20年程前、商社の駐在員として約3年間北京に単身赴任していた。当時、小中校の生徒だった3人の子供達は妻に連れられ、夏休みに北京に came。最初の年は西安方面、翌年は内蒙古自治区方面への家族旅行の機会に恵まれた。

「非開放地域」への旅行では、何回も当局との面接があった。便所・食堂等衛生面で不安もあった。でも、私は地元の中国の方々と同じ生活を子供達に強いた。物質的には貧しい生活を眼にして子供達は「国とか社会」を実感してくれた。7年前、水墨画を習っている友人から在日中国人一家を紹介され家族ぐるみのお付き合いが始まり子供同士が結婚し、孫も生まれた。お付き合いが始まった直後、私は日本人同士でも好き嫌いがある。中国人に対しても同じ、「向き合って堂々と主張すること」が大切とお話した。国や党の宣伝を超えて、個人は自らの眼で自らの心で友好に触れてみたらと私は思う。友好にも山あり谷ありだ。

本屋で立ち読みして下さい。川越に行くご友人がいたら「百丈」との一声を。

遊びから始まる、おいしい生活

# 自分時間

オフタイムがもっと楽しくなる、大人の生活情報誌

●第4号好評発売中! ●定価680円(税込)

道楽蕎麦屋に教わった旨い店

## 絶品江戸蕎麦八傑

並木藪蕎麦/まつや/手打蕎麦おざわ/蕎麦きびや  
手打蕎麦しのはら/百丈/卯月/手打蕎麦藤村